

かまくら 女性史の会 Newsletter

第 126 号

2025 年 4 月 19 日 発行

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

NPOセンター鎌倉 気付

メールボックス 26

E-mail: syokmat@yahoo.co.jp

《日本初の女子大生はリケジョ》

1913 (T2) 年 8 月、3 名の女子が東北帝国大學理科大学（現理学部）への入学を許可され、日本初の女子大生が誕生した。明治時代日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のみが入学を許され、女性の入学は考えられなかった。ちなみに 1901 (M34) 年に創立した日本女子大学校は専門学校としての認可で、東京・京都・東北・九州の 4 つの帝国大學のみが「大學」として認められていた。創立間もない東北帝国大學は独自の判断で女子の受験を認め 4 名が受験した。これに驚いた文部省は、入学試験中に「元来女子を帝国大學に入学せしめることは前例これ無き事にてすこぶる重大なる事件」として事情説明を求めたが、大学はそれにかまわず、21 日、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメら 3 名の合格を官報に掲載した。

黒田チカ（1884～1968）佐賀出身。佐賀県師範学校女子部を経て 1902 年東京女子高等師範学校（現お茶の水女子大学）理科に進学、福井で教諭を務めたのち母校の研究科に入学、09 年東京女子高等師範学校助教授に就任、13 年東北帝国大學理科大学化学科入学、29 才。

牧田らく（1888～1977）京都出身。京都府高等女学校を経て東京女子高等師範学校に進学。11 年研究科に進学し、終了後嘱託教員として勤務。13 年東北帝国大學理科大学数学科入学。

丹下ウメ（1873～1955）鹿児島出身。師範学校卒業後 10 年間小学校教員をしていたが、28 才で日本女子大学校第 1 期生として入学、卒業後助手として勤務。13 年東北帝国大學理科大学化学科入学、40 才。

東京朝日、読売、東京日日の各新聞は 16 日「三女子大学に入る 入学試験好成績」と報じた。一方女子学生に対する軋轢は強く、特に同級生の男子学生たちは「女子と合同では学科の程度が自然と低くなる恐れがある。また、男女学生の合同研究には生理上体質上の障害が多いので、女子の帝大入学は時期尚早」と彼女たちを排斥したことも新聞で報じられた。

当時とは別の意味で、今「リケジョ」が注目を浴びている。理工系学部であえて「女子枠」を設ける大学が増え、国公立大学でも、2024 年度は 15 大学、25 年度入試では 30 大学 37 学部が導入と倍増した。22 年 5 月の「教育未来創造会議第一次提言」の中で、理工系学部の女子比率が世界的にも低い水準であり、女性が理系分野で活躍できるよう構造改革を試みる大学を支援するという提言を行っている。はて？女性の教育は明治・大正時代と何ら変わらず時の政府のお達しで成り立っているのであろうか。自身の興味や希望で理工系学部を選ぶのは勿論だが、数合わせのように女子枠を作ったから来てって、なんか腑に落ちない気がする。 参考文献：『幕末・明治生まれの女七人―時代を拓いた佐賀ゆかりの人』 東北大学 IIP

2025 年 4 月 8 日 かまくら女性史の会会員 石崎 和子